

(様式1)

令和3年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 050	提案機関名 湘南地域県政総合センター
要望問題名 漁船の減速航行による省エネルギー効果についての調査研究	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 当センターの管内の漁業協同組合では、浜の活力再生プラン(以下「浜プラン」という。)を策定して地域の水産業の活性化に取り組んでいる。浜プランの取組の一つとして、漁業コスト削減のため漁船の減速航行による燃料費の削減を図るとしている。しかし、漁業者は、何ノット減速すればどの程度燃料が節約できるのかを十分に把握していないため、減速航行が浜プランには位置づけられているが、個々の漁業者の具体的な取組に結びついていない面がある。 そこで、漁業における省エネルギーの取組を促進するため、漁業種類別の漁船の減速航行の効果について調査研究を行い漁業現場への普及をお願いしたい。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	相模湾試験場
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	<p>漁船の燃料費削減については、減速航行に限らず色々な手法があります。船から余分な荷物を除き船体を軽くすること、急な加減速をしないこと、エンジンの定期的なメンテナンスをすること、船体のメンテナンスをしっかり行うこと、不必要なアイドリングを避けることなどで消費燃料の削減を図ることができます。</p> <p>燃料消費削減に向けては速度を落として（エンジン回転数を落として）運航することも重要ですが、実際の沿岸漁船の利用方法を考えた場合、それだけでは十分とは言えず、上記のことも併せて実施していくことが必要と考えます。まずは、速度を落として何%燃料を削減できるかということよりも上記のことと併せて実行し、漁業者の方々には燃料費削減へ向け行動する前と後で燃料代がどのように変化したか記録してもらって調査したほうが、燃料削減への取組みにも結び付くと思います。</p>		
解決予定年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			